

平成23年9月議会の主な議案、陳情に対する各議員の態度

		(敬称略)																	議決の結果					
		会	政					公	市			市		未		み								
		日本共産党	友					明	民			民		来		ん								
		派	会					党	ク			連		ク		の								
		議	員						ラ			合		ラ		党								
		員	名						ブ			合		ブ		波								
		名							プ			合		初		美								
○：原案可決、採択等 ×：否決、不採択等																								
陳情 A～C：県保育問題協議会、D：須永勇氏		宮城とみ子	石井幸一	大野裕彦	吉野良一	野上八郎	原川洋二	泉澤武宏	松谷勝	森又勝	池ヶ谷富士夫	佐藤誠	井上治美	川原千加子	小易和彦	月野隆	小泉保彦	谷間裕美	芝田和幸	針貝清氏	津久井清氏	三橋一郎	岩波初美	
議案	①1号	平成23年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	②6～11号	平成22年度一般会計、特別会計決算の認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	③報告1号	専決処分 市税条例一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	A	「子ども・子育て新システム」に反対の意見を国にあげて	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	
	B	公設公営保育所への特定財源の復活の意見を国にあげて	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	C	県の「児童福祉施設の設備、運営の基準」条例化にあたり、市町村が独自に上乘せを	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	D	回覧等事務委託契約先を自連協から単位自治会に変更を求める	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

解説 ①議案
 学校給食センター建替事業の債務負担行為の補正予算に反対。
 18年間で総額85億5千万円の設定。(建設費24億2千万円。運営費など約59億円。金利2億4千万円)数社の企業からなる特別目的会社が(銀行からお金を借りて)市と契約をかわします。利益や効率を追求する企業と公教育とは根本的な矛盾がありPFI方式は学校給食事業にはそぐわないという理由からです。

債務負担行為とは 予算は単一年度で完結するのが原則ですが、例外として将来にわたる支払義務に対応するため、あらかじめ後年度の債務を約束することを「債務負担行為」と言い、議会の議決を経てその期間と額を確定するもの。

解説③証券優遇税制2年間延長と市民税などの不申告への過料引き上げという納税者への罰則強化などに反対

解説②決算 承認できませんでした。
 平成22年度一般会計、国保、介護、下水道、老人保健、後期高齢者医療保険の6会計)生活保護世帯が681世帯、989人でした。多くの家庭が保護以下の生活です。市民所得は1人あたり298万円、前年比で23万円も落ち込み、個人市民税も落ち込んでいます。市は財政力指数や実質収支など指数が軒並み改善した、と強調しますが、市民生活は厳しくなっています。
 PFI方式による学校給食センター建替事業における事業用地の確保予算、北総鉄道運賃助成のためという税金投入にも反対。
 自主財源を増やすためにも地域内循環型経済施策が必要です。



公園での測定活動

その他の補正予算は賛成
 防災無線の音響調査、緊急雇用創出事業、河川、水路整備事業、ふれあいセンター設置(精神障がい者の小規模作業所)などには賛成。
 防犯カメラ設置事業は住民に充分意見を聞くこと、個人情報保護対策としっかりしたルールづくりを求めました。
 放射線対策では測定器を市独自で買い、希望する市民に貸し出すよう要望しました。

宮城議員は放射線量測定を定期的に行って市との情報共有を進めています。高い値のところはしっかり除染をするよう求め実現させています。

無料生活相談
 毎月第1月曜日午後2時からご希望の方はご連絡下さい
 宮城とみ子
 TEL 047-446-4882